

学校名	熊谷市立石原小学校
所在地	熊谷市石原3丁目1-1
電話	048-521-0019

1 本校の概要

本校は、明治6年に設立され、今年度で147年目を迎える歴史と伝統ある学校である。学校教育目標「豊かな心と確かな学力をもち、健康で実践できる児童の育成」を目指し、日々の教育活動を行っている。学区には、保育園や中学校、高等学校があり、本校児童との交流が積極的に行われている。26学級、児童数785名の大規模校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備と工夫

(2) 実践の概要

読書の習慣化や興味・関心を高めるために、本校では以下の実践を行っている。

ア 1年間の読書達成目標を設定

音読カードのとなりに読書カードを貼り、本を読み終わるごとに合計の冊数と題名を記入する。低学年は100冊、高学年は50冊の目標を達成できた児童は、しおりをもらい、廊下に名前が張り出される。



イ 図書集会

全校児童に向けて、図書委員会の児童が読み聞かせやお勧めの本の紹介を行った。絵をスライドに映しながら、抑揚をつけて読み聞かせをすることで聞いている児童は本の世界に引き込まれていた。また、お勧めの本の紹介をすることは、新しい本と出会うきっかけ作りとなった。



ウ 朝の読書タイム

毎週月曜日、業前の15分間に自分が興味をもった本をクラス全員で集中して読む時間は、本を読む習慣付けになっている。また、本に関心が低い児童にとっても、本と向き合う貴重な時間である。

エ 「こづえの会」による読み聞かせ

年間で1～4年生2回、5・6年生1回、熊谷朗読ボランティアである「こづえの会」の方からの読み聞かせを実施している。季節にあった本や大型絵本の読み聞かせを行っているため、児童にとって読書の幅が広がるとともに、本への興味・関心が高まる時間となっている。

オ 図書室の環境整備

授業と関係がある本をピックアップして紹介するコーナーや新書用のコーナーを設置し、児童が手に取りやすいようにしている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 全校で読書の時間を確保することで、習慣化することができている。また、目標を達成した児童の名前を掲示し、しおりを渡すことで読書への励みとなっている。

イ 集会や読み聞かせを通して、様々な本に触れることで興味・関心が高まり、読書の幅が広がっている。

ウ 図書室がわかりやすく整備されているため、授業と結びつけた教材や調べ学習で児童が本を手に取りやすく授業でも活用されている。

(2) 課題

多くの児童が目標冊数達成に向けて意欲的に取り組んでいるが、学年が上がるにつれて、ページ数の多い本を読むため、目標冊数達成が難しい児童もいる。

(3) 終わりに

児童の読書習慣や読書への興味・関心がさらに高まる活動を継続して行いたい。